

## おいしく食べて治す ～栄養管理は治療法の基本～

栄養科長補佐 井堀 園美

NST (Nutrition Support Team) 栄養サポートチームって聞いたことありますか？医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師などの医療スタッフが共同で患者さんの栄養状態をチェックし、きめ細かいケアを行うチーム医療の仲間のことです。最近このNSTの必要性が指摘されています。NSTを導入した病院では、早期退院や院内感染の予防など、患者さんにも好ましい効果が出ているのです。

日本人の寿命が延びた最大の要因は、環境衛生と栄養改善であると考えられます。その一方で、高齢化社会の到来に伴い、入院患者においては低栄養が目立ってきています。これまでは病院は病気を治すことばかりに力を注ぎ、治癒力に大きな影響をもたらす栄養管理は十分な対策がなされていませんでした。医学教育の場でも栄養の講義はおろそかにされていました。そのような背景もあって日本の病院の入院患者の30～50%が栄養不良の状態にあると言われています。

### 栄養不良が続くとどうなるの？

手術や外傷、褥瘡（床ずれ）など、創傷治癒の遅れや悪化

手術後の合併症の増加

免疫力の低下による感染症の増加や悪化

筋力低下による日常生活の質の低下（歩行困難、嚥下障害、誤嚥性肺炎など）

上記の事が原因で、入院生活が長くなり、ひどい時には死にいたることさえあると言われています。

そのような状況を改善するために近年全国の各病院がNST（栄養サポートチーム）を開設するようになってきています。NSTの役割としては次の6つのものがあります。栄養アセスメントを行い、栄養管理が必要かどうか判断する 適切な栄養管理が施行されているかチェックし、指導する 栄養管理に伴う合併症を予防・早期発見する 栄養管理上の疑問に答える 資材・素材の無駄を削減する 社会復帰を助け、QOL（生活の質）を向上させる。

急性期疾患や長期入院中などの患者さんにとって、栄養状態を良好に保つことは治療効果を上げる上で大きな役割を果たします。力が落ちている患者さんにとって、口や胃を経て栄養を摂取する「経腸栄養」は体力回復と免疫力向上のうえで極めて大切です。NSTは栄養管理と経口摂取の推進を行うことで患者さんの栄養改善の手助けを行います。具体的には各スタッフがそれぞれの専門性を活かして、栄養状態や摂食状況の評価を行い、食事形態の変更や、おやつ追加、摂食

訓練、点滴内容の見直しなど、栄養面全般にわたり計画の作成を行い、実行します。

当院は平成18年7月より活動を開始し、NSTの稼働施設として認定を受けています。複数の医療スタッフがNST(栄養サポートチーム)を組んで栄養管理に取り組んでいます。具体的には、病態管理をする医師、患者さんのそばにいて一番患者さんの状態を把握している看護師、必要量や摂取量を評価し食事を調整提供する管理栄養士、薬の副作用・薬効・点滴などの管理をする薬剤師、摂食嚥下機能評価を行う言語聴覚士、検査データから患者さんの栄養状態を評価する臨床検査技師などの各専門スタッフが所属しています。

当院でもNST導入以来、これまでほとんど関心がもたれなかった食事の摂食状況、嚥下の状態、点滴の内容に注目し、病気の回復に大きな影響を及ぼす栄養障害の予防と治療に力を入れております。具体的には経口摂取が不可能とされていた人が食事可能となった、誤嚥が少なくなった、などの成果が認められています。NSTは今後もチーム医療として取り組んでいく大切な領域です。患者さんを良好な栄養状態に保ち、治療効果をあげ、一日も早く回復していただくことが目的です。栄養サポートが必要な患者さん全てに関われるようにシステム作りをしたいと思います。そして更に質の高い活動を行えるよう、新たな知識を取り入れながら活動していきます。

